

1. 学ぶ内容

・地震後のトイレの心構えと工夫

2. わらい

大地震により上下水道などの配管に被害が出ると、復旧までに1ヶ月以上かかると言われている。その間、水洗トイレは流せないため、普段通りにトイレが使えなくなる。そういった状況に対応するための地震後のトイレの対応のしかたについて知る。

3. 授業の流れ

〔準備〕① 必要に応じてスライドを印刷しておく（掲示用1枚 ※先生が使う）

② そなえチェックシート「災害時のトイレ」を印刷しておく（全員に配布）

実施の流れ	内容	ポイント
導入 (3分)	<p>災害時には「トイレが使えなくなる」ということをイメージする</p> <p>災害時は普段どおりにはトイレが使えなくなるということを説明する。</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・地震の揺れで上下水道の管がずれたり外れたりしてしまうと、そこから汚水が流れ出てしまうため、直るまで水洗トイレが流せなくなる。 ・また、管がずれたり曲がったりした部分が詰まってしまうと、その部分から汚水が溜まり逆流し、便器から溢れ出てしまうこともある。 <p>※震災時の写真を見せると理解しやすく、有効です。</p>
展開 (10分)	「もんだいシート」を提示する。	
	<p>地震後のトイレの使い方について考える</p> <p>〇×クイズを通して、地震後のトイレの使い方について考えてもらう。</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・「ではこれから、地震後トイレをどう使うかについて考えましょう!」と伝える。 ・スライド（画面、もしくは印刷したものを見せる）順番に掲示し（〇×クイズ）、子どもたちに〇か×かを答えてもらう。 ・子どもたちから答えを聞いたら、こたえを見せる。 ・読み上げるだけで実施できるようストーリーを作っているので、最初から順番に内容を読み上げていく。
まとめ (2分)	おうちのそなえチェックシート「災害時のトイレ」を配る。	
	<p>学んだことをおさらいする</p> <p>非常時のトイレの備えについて、家族で日頃から話し合っておくように勧める。</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・災害時に知識を役立てるためには、日頃から家族でトイレの備えについて話しておくことが大事だということを伝える。 ・家庭でどの程度の準備ができているか、チェックシートにある項目で確認して欲しいと伝える。 ・もし余裕があれば、家族に必要な携帯トイレの数や身の回りのものを使った緊急用トイレの作り方などについて、チェックシートを読み上げる形で紹介する。